

看護部

1. スタッフ構成(2025年3月時点)

- 青野 洋子(看護部長)
- 越智 文子(副看護部長)
- 阿部 カナエ(副看護部長)
- 濱田 理恵(副看護部長)
- 矢野 奈美(副看護部長)

■ 看護職員状況(2025年3月31日時点)

	在籍数	産休 (産前)	産休 (産後)	育休	病休 休職等	実人数
正規						
看護師	689	10		55	12	612
新規採用者(新卒)	54				2	52
短時間勤務看護師	55					55
小計	798	10	0	55	14	719
会計年度任用職員						
看護師	61				1	60
准看護師	1					1
保育士・管理栄養士・介護福祉士・臨床工学技士	11					11
病棟看護アシスタント	36					36
病棟クラーク	16					16
外来助手	9					9
クリニカルアシスタント	9					9
事務補助	8					8
小計	151	0	0	0	1	150
合計	949	10	0	55	15	869

■ 2025年度採用

新規採用者:63名(既卒:9名、新卒:54名)

2. 認定資格取得(2025年3月時点)

資格名	資格取得者
日本看護協会	
がん看護専門看護師	武田千津
新生児集中ケア認定看護師	西田ありさ
がん化学療法看護認定看護師	山下広恵、池内靖恵
乳がん看護認定看護師	外山修子
救急看護認定看護師	山下さつき、矢野奈美、山崎誠
集中ケア認定看護師	中村京子
緩和ケア認定看護師	加藤弘子、西谷恵
感染管理認定看護師	岩本悟志、宇都宮麻美子、日野恵子、若林美代子
手術看護認定看護師	渡部早人、今井幹也
小児救急看護認定看護師	藤原優子
皮膚・排泄ケア認定看護師	久保美千代、和田理枝
摂食・嚥下障害看護認定看護師	山下かおり

認知症看護認定看護師	玉利未来
糖尿病看護認定看護師	兵頭佳代子
慢性心不全看護認定看護師	重川みか
クリティカルケア認定看護師	越智康弘

3. 運営方針

<理念>

愛媛県立中央病院看護部は常に看護の本質を追求し、ぬくもりのある質の高い看護を提供します。

<方針>

- ・看護職として生命の尊厳・患者さんの権利を尊重します。
- ・病院の目指す方向を理解し、専門職としての役割を認識するとともに、その時代背景に応じた安全で質の高い看護を提供します。
- ・チーム医療の要として、多職種チーム医療の推進役を担います。
- ・病院組織で働く人間として、社会人・組織人としての行動が取れるとともに、看護の専門職業人に必要とされる知識・技術・態度を磨き、自らの成長に向け努力できる看護師を育成します。
- ・職場環境の整備を行い、働き続けられる職場づくりを行います。
- ・健全化を目指し、効率的な病院経営に参画します。

4. 実績

<看護サービス目標>

患者の退院後の生活(人生)を見据え、患者と家族の望む生活(人生)が送れるよう個人を尊重した看護ケアを提供する。

<看護部目標>

- ・人材育成の推進
- ・職場環境の改善:自分たちの自主的な発想で行動しよう

少子高齢社会の進展に伴い、入院患者の45%を占める70歳以上の高齢者と、複雑な背景をもつハイリスク児(医療的・社会的)への対応が求められています。これからの看護に求められることは、急性期病院であっても患者を「生活者」として捉える視点を持ち、入院早期から患者の病態や治療状況を把握したうえで、患者・家族のニーズを把握し、多職種と連携しながら退院支援を行うことです。2024年度は多職種連携を強化し、「個別性を考慮した看護過程の展開」を行うことを目標としました。また、「身体拘束最小化」と「意思決定支援」を重視し、「患者のQOLの向上」を目指す取り組みを進めました。

その結果、カンファレンスは日常的に行われるようになってきましたが、生活背景や価値観を踏まえたアセスメント、本人の意思を尊重した意思決定支援の議論といった本質的な部分にはまだ課題が残されています。

今後の課題は、患者の状態を生活背景や治療経過から多角的に捉え、今後の変化を予測しながら、必要な機能回復や苦痛の緩和に向けたアプローチを多職種で考えて、患者や家族を尊重したその人らしい生活を支える看護実践を行うことです。そのためには、カンファレンスの質の向上を図り、意思決定支援や倫理的判断を共有できるチームづくりを推進していくこと、また、病院と地域とのシームレスな連携を実現し、看護の専門性を最大に発揮して、急性期病院としての役割を果たす必要があると考えます。

人材育成の推進については、看護長・次席が協同し、看護職員

研修支援ガイドを活用して、スタッフのキャリア支援・育成に取り組みました。新人看護師の育成に対しては、認定・専門看護師や次席、実地指導者が新人研修に参加し、Off-JT と OJT の連動、リフレクションの強化を行いました。また、育休復帰後の看護職員には目標面接とキャリア支援ガイドラインを活用した支援を開始しました。看護実践応力の向上のため、キャリアラダーを用いた教育支援、能力評価を行い、新規採用者はラダーIクリアに向けて学びを深めました。主任・専門員ラダーIIIクリア率は目標値を達成でき、育休復帰後、看護職員2名がラダー申請できました。

今後の課題としては、日々の実践を意味づけるために、更にリフレクションを活用した学習を進めることです。エルダー・実地指導者・実地指導者リーダー・教育担当者の学びを系統化し、OJTでの支援を強化していく必要があると考えます。また、育休復帰後の看護職員に対しては、引き続き目標面接とキャリア支援ガイドラインを使用し、支援していく必要があると考えます。

職場環境の改善については、年度初めに各部署で職場環境改善に伴うスローガンを掲げ、部署の掲示板に貼付しました。部署スローガンを掲げることで部署の活性に繋がったという反応がありました。

また、今年度、次席会活動で職場環境改善を行い、8時30分始業、休憩時間の確保、リフレ体制について取り組みました。全24部署中約7割の13部署で目標達成できました。特に休憩時間の確保に関しては、すべての勤務帯で以前より長く休憩時間が確保できるようになりました。日勤だけでなく準夜帯の休憩時間にも着目した部署もありました。

今後は、部署毎の職場環境に対しての課題にも看護長と次席が連携してスタッフ全員を巻き込んだ改善活動を展開していく必要があると考えます。看護長や次席がスタッフとのコミュニケーションを図り、多職種と協働して個人の自律性、組織の相互作用を活性化することが次年度への課題と考えます。

■ 2024年度 県立病院看護職員研修(4病院合同)

研修名	目的	担当講師	開催日	参加
ラダーレベルI トライ				
①既卒新規採用者看護職員研修 ②新卒新規採用者看護職員研修	新規採用看護職員として、県立病院の理念と組織を理解し、看護専門職業人としての自覚を養うとともに、職員相互の交流を深め連帯意識を醸成し、新しい職場環境への定着化を図る	公営企業管理局職員 他	①5月9日 ②5月9～10日(宿泊)	①18名 ②71名
新卒新規採用者リフレッシュ研修	新卒新規採用看護職員が心理面・身体面のストレス対処法を知り、講義や講話、新卒新規採用看護職員同士の交流を通して目指す看護師像に立ち返るなど、意欲的に仕事を続けるための活力を養い、職場への定着化を図る	公営企業管理局職員 他	10月25日	67名
ラダーレベルII トライ				
フィジカルアセスメントI(基礎編)	対象者の健康状態を把握するために必要なフィジカルアセスメント能力を養う	集中ケア認定看護師 中村京子 救急看護認定看護師 山崎誠 小児救急看護認定看護師 藤原優子 クリティカルケア認定看護師 越智康弘 県立今治病院 救急看護認定看護師 渡部大志 県立新居浜病院 集中ケア認定看護師 加藤あゆみ	7月29日 or 30日、 8月30日 or 9月2日	62名
看護過程の展開I(基礎編)	看護過程の意義・プロセスを理解し、多角的なアセスメントから看護の方向性を導き出すための知識と技術を習得する	愛媛県立医療技術大学 保健科学部 看護学科 成人老年看護学講座 教授 松井美由紀	8月5日、9月12日	65名
入退院支援	地域連携システムを理解し、入退院支援・地域連携・多職種連携協働における看護師の役割や、必要な知識を学び活用する	上智大学 総合人間科学部看護学科 教授 坂井志麻	6月20日	58名
ラダーレベルIII トライ				
看護倫理I	自部署における倫理的問題や課題を明確にし、自身の役割や責任を理解した上で看護者としての倫理的意思決定ができる	がん看護専門看護師 武田千津	6月14日、7月22日	25名
フィジカルアセスメントII(症例編)	フィジカルアセスメントの理解を深め、臨床で活用できる	集中ケア認定看護師 中村京子 救急看護認定看護師 山崎誠 小児救急看護認定看護師 藤原優子 クリティカルケア認定看護師 越智康弘 県立今治病院 救急看護認定看護師 渡部大志 県立新居浜病院 集中ケア認定看護師 加藤あゆみ	6月10日	26名
看護過程の展開II(実践編)	看護過程と理論の関係を理解し、個別性のある看護計画を立案・問題解決できる知識と技術を習得する	愛媛県立医療技術大学 保健科学部 看護学科 成人老年看護学講座 教授 松井美由紀	9月4日、12月24日	23名
理論研修(中範囲理論)	理論を活用して対象を理解し、看護実践に活かすことができる	NPO 法人看護キャリア開発センター 代表 下山節子	6月21日、11月15日	6名

看護倫理II(意思決定支援)	ケアの受け手や周囲の人々それぞれに応じた意思決定に必要な支援ができる	がん看護専門看護師 武田千津	11月14日	25名
マネジメントI	リーダーシップを発揮してチーム運営で成果を上げる	NPO 法人病院経営支援機構 アソシエイト 山下まゆみ	7月8日	24名
人材育成I(教育技法)	対象に合わせた教育技法を理解し現場で活用することができる	愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 教授 中井俊樹	7月12日	26名
人材育成II(ファシリテーション)	ファシリテーターの役割を理解し、組織の中で円滑な合意形成に導く能力を養う	ひとづくり工房 esuco 代表 浦山絵里	9月27日	20名
看護研究の基礎	看護研究の一連のプロセスについての基礎知識を学ぶことができ、研究的な視点を養う	愛媛県立医療技術大学 保健科学部 看護学科 看護学科長 教授 野本百合子 各病院看護研究委員	6月3日、7月23日、 8月21日、10月7日 (4回まで Web)、11月18日(集合)	22名
セルフマネジメント	アサーティブコミュニケーションを活用し、お互いを尊重しながら相手と良い関係を保つことができる	株式会社 ハートセラピー 杉山修	10月11日	18名
中堅看護職員研修	キャリアプラトーンに陥りがちな中堅看護職員が、これからも意欲的に看護の仕事の続けられるよう活力を養う	オフィス KATSUHARA 代表 勝原裕美子 公営企業管理局職員	8月16日	76名
リーダーレベルIV トライ				
フィジカルアセスメントII(症例編)	フィジカルアセスメントの理解を深め、臨床で活用できる	集中ケア認定看護師 中村京子 救急看護認定看護師 山崎誠 小児救急看護認定看護師 藤原優子 クリティカルケア認定看護師 越智康弘 県立今治病院 救急看護認定看護師 渡部大志 県立新居浜病院 集中ケア認定看護師 加藤あゆみ	6月11日	27名
中範囲理論(中範囲理論)	理論を活用して対象を理解し、看護実践に活かすことができる	NPO 法人看護キャリア開発センター 代表 下山節子	6月21日、11月15日	22名
マネジメントII	マネジメント力を発揮し、部署や組織の課題を明らかにし変革に取り組む	NPO 法人病院経営支援機構 山下まゆみ	10月28日	11名
人材育成II(ファシリテーション)	ファシリテーターの役割を理解し、組織の中で円滑な合意形成に導く能力を養う	ひとづくり工房 esuco 代表 浦山絵里	9月27日	12名
役割				
管理者育成研修(新任次席)	「教え方」についての基本を学び実践をおとして、自ら学べる看護人材を育成するための教育体制と組織づくりができる力を養う	ランフォレスト合同会社 代表 林博之	9月28日	26名
管理者育成研修(次席)	教育体制・組織作りを実践後の課題を通して「考え方」「接し方」「教え方」を学びなおし自律型人材を育成する組織作りができる	ランフォレスト合同会社 代表 林博之	9月29日	44名
管理者育成研修(看護長)	教育体制・組織作りを実践後の課題を通して「考え方」「接し方」「教え方」を学びなおし自律型人材を育成する組織作りができる	ランフォレスト合同会社 代表 林博之	10月12日 or 10月13日	55名
災害				
災害研修 病院内の災害時のケア(1日目) 災害拠点病院の役割とリーダーシップ(2日目)	1.災害時の備えについて理解できる 2.災害時の対応がわかる 3.災害拠点病院の機能がわかる 4.災害看護に必要な知識・技術を習得し実践で活用する力を養う	災害医療センター長 馬越健介 救急看護認定看護師 山下さつき 救急看護認定看護師 山崎誠 集中ケア認定看護師 中村京子 県立今治病院 DMAT 阪尾佳彦 県立新居浜病院 DMAT 松本静	12月12・13日(公開研修)	59名 (うち他施設38名)
トピックス				
「のぞみの花を高く掲げよ」若者の自律性の育み方～厳しさの中の優しさとは～	自律性を高める支援方法を学び、自ら考え発信できる看護師を育てる	学校法人細田学園 細田中学校・高等学校 細田学園高等学校バレーボール部エグゼクティブアドバイザー 小川良樹	9月21日(公開研修)	48名 (うち他施設8名)

【専門・認定看護師活動報告】

○がん看護専門看護師活動:武田千津

(1) 院内活動

＜がん治療センター運営委員会＞

- ・ がん治療センター運営委員会参加(3月5日、7月2日)

【緩和ケアチーム】

- ・ 緩和ケアチームラウンド(1回/週)
- ・ 緩和ケアチーム依頼延べ患者数:15名
- ・ 緩和ケアスクリーニング延べ件数:1,179件
- ・ 緩和ケアチームラウンド延べ患者数:475名
- ・ 緩和ケア研修会(8月10日)

【がんゲノムチーム】(チーム会:2月27日、6月14日)

- ・ エキスパートパネル(1回/週) 参加
- ・ 当院エキスパートパネル出検数:34件
- ・ がんゲノム医療連携病院説明会(1回/月) 参加

【AYA世代がん患者支援チーム】

- ・ AYA世代患者28症例の把握および支援
- ・ 症例カンファレンス(1回/月)
- ・ 係会・ミニ勉強会(1回/2か月)

【地域がん診療連携拠点病院 WG】

① がん相談支援センター

- ・ 全相談4,441件のうち906件を担当(20.4%)

② キャンサーボード

- ・ キャンサーボード参加(第2・4木曜日8:15-8:30)
- ・ 臨時キャンサーボードコーディネイト(2月6・28日、3月22日、5月7・24日、7月23日、8月16日、10月1・17日)

③ 市民公開講座企画(愛媛 CATV 放映)

- ・ 10月6日開催 第32回『がん薬物療法について』当院がん治療センター長 名和由一郎、薬剤師 十亀将暉、がん薬物療法看護認定看護師 池内靖恵
- ・ 2月22日開催 第34回『あなた自身の人生の最後、どのようにしたいですか』『がんになっても安心して過ごせる知っておくと得する緩和ケア』聖愛会 松山ベテル病院 院長 中橋恒

④ 症例検討会企画(がん治療センター・地域医療連携室主催)

- ・ 第138回医療連携懇話会(8月21日)
「患者自身が自分の生き方を選択し、その希望を叶えるための支援を考える～血液悪性腫瘍患者の事例を通じて～」(当院血液内科医師、病棟看護師、地域医療連携室医療社会福祉士、地域の医療機関および介護支援専門医からの発表・意見交換)

⑤ ルタテラ WG

- ・ 担当振り分け、実施に向けた準備

(2) その他の院内活動

- ・ 患者支援室運営委員会
- ・ 臨床倫理問題検討部会(9月以降1回/月開催)
- ・ 専門・認定看護師会
- ・ 新人III期研修 看護倫理(10月9日)
- ・ 県立病院看護職員合同研修「看護倫理I」講義(6月14日、7月22日)
- ・ 県立病院看護職員合同研修「看護倫理II(意思決定支援)」講義(11月14日)
- ・ 部署カンファレンスへの参加(1月26日外来、2月14日外来、5月30日術前カンファレンス)
- ・ 看護長会勉強会「看護倫理」(8月20日、9月17日)
- ・ 次席会勉強会「意思決定支援」(12月10・24日)

(3) 院外活動

- ・ 愛媛県がん診療連携協議会がん看護専門部会がん看護実践能力向上研修 企画委員
- ・ がん看護実践能力向上研修「ACP」講師(9月12日)

- ・ ELNEC-Jえひめ ファンリテーター(8月24・25日)
 - ・ 愛媛県がん診療連携拠点病院協議会緩和ケア専門部会(2回/年)
 - ・ 愛媛県がん診療連携拠点病院協議会相談支援専門部会(2回/年)
 - ・ がん相談員研修ワーキング 企画・運営
 - ・ 相談員研修(3月16日、9月28日、11月9日) 企画・ファンリテーション
 - ・ 松山看護専門学校講義(8月29日)
 - ・ 愛媛県立医療技術大学講義(7月18日)
- #### (4) 自己研鑽
- ・ 第1回愛媛県がん相談員研修会事例検討会～評価表を用いてより良い相談対応について考える～(9月28日)
 - ・ 第11回日本CNS看護学会 Web参加(6月)

○新生児集中ケア認定看護師活動:西田ありさ

(1) 院内活動

■ 院内研修(依頼)

開催日	名称	対象
1月30日	新生児蘇生－気管挿管の介助－	産科病棟助産師

■ 自部署研修(自部署対象)

開催日	テーマ(内容)	対象
2月21日	新生児蘇生－気管挿管の介助－	NICU/GCU 転入看護師

(2) 院外活動

■ 院外講師(看護学校・看護協会)

開催日	名称	対象
11月25日	多施設合同新人助産師研修 新生児のフィジカルアセスメント	愛媛県新人助産師

(3) 実践・指導・相談

<実践>

- ・ 急性期の直接ケアに介入し、スタッフと実践を行いました。

<指導>

- ・ 新生児の初期ケアの実践や人工呼吸器管理対象児の看護実践等の指導を2・3年目の転入者を実施しました。
- ・ 産科病棟助産師、NICU看護師対象にフィジカルアセスメントの講義や演習、挿管介助に対する講義を行い、思考や技術演習等の研修を開催しました。
- ・ 新生児のフィジカルアセスメントや急変時対応のシミュレーション教育を研修運営や課題を通して指導しました。
- ・ 出生直後の新生児に対する気管挿管の介助について産科病棟や自部署でシミュレーション教育を実施しました。

<相談>

- ・ コンサルテーションでは、吸引方法の技術やホールディングでの安定化、機器の取り扱い等の相談対応を行いました。
- ・ NICU・GCUで起こったインシデント、特に、胃チューブ管理や抑制に対する対策の相談があり、チューブ管理のトラブルに対する傾向を分析し、看護ケアや計画外除去予防の対策について相談者と解決しました。

○がん化学療法看護認定看護師活動:池内靖恵、山下広恵

(1) 院内部署活動

<実践>

① 12階東病棟実績

- ・ 入院患者数:797人(前年696人)
- ・ 化学療法実施件数:2,729件、日別:7～8件(前年3,198件)
- ・ 実施レジメン件数:1,950件
- ・ 化学療法パス適用件数:187件

② 外来化学療法実績

- ・ 外来実施件数:9,847件(前年9,461件)、日別:22~71件(前年15~64件)
- ・ 患者数:1,152人(前年1,089人)、新規患者数:515人(前年494人)

※2020年2月以降、抗悪性腫瘍薬皮下・筋肉注射は各診療科および中央処置室で実施。実施総数:1,768件(前年2,070件)〔血内/乳腺/消外/小児〕

<活動内容>

① 12階東病棟

- ・ 移植治療や化学療法を受ける患者への多職種で連携した患者・家族の意思決定支援、セルフケア支援
- ・ 化学療法・移植治療に関する教育スケジュールの整備やキャリアアップとスタッフの育成
- ・ 他科化学療法の投与管理支援

② 外来化学療法室

- ・ 多職種による患者待ち時間の低減に向けて運用検討
- ・ 時間外延長患者の影響要因分析と診療科への協力依頼
- ・ 栄養スクリーニングと栄養指導実施に向けての取り組み
- ・ 患者・家族へ『脱毛ケア』『スキンケア』など継続看護実施
- ・ 治験(肝/血液/肺):治験勉強会、準備、実施、看護師支援
- ・ 新人ローテーション研修部署:実施3人
- ・ TQM活動:レジメンオーダー忘れ半減への取り組み

(2) 院内活動

- ・ がん治療センター運営委員会(3月5日、7月2日)
- ・ 化学療法チーム会(1回/月 計12回)
- ・ 院内クリニカルパス(化学療法パス)作成検討
- ・ レジメン審査委員会(2018年発足)(1回/月 計12回)
- ・ 緩和ケアリンクナース育成研修WG(1回/月) 企画・運営
- ・ 抗がん薬曝露対策プロジェクトチーム会(2018年発足):2019年閉鎖式薬物移送システム(CSTD)導入
- ・ レジメン変更率97%(661/684)(前年96.0%(581/605))
- ・ 髄腔内注射におけるCSTD導入
- ・ 抗がん薬曝露対策実態調査実施(4月、11月)
- ・ 曝露対策機会別(①排泄物取り扱い②ボトルに触れる時)チェックリスト作成、関連部署で自己評価実施
- ・ 院内情報共有資料 ホームページに掲載
- ・ AYA世代がん患者支援チーム:症例カンファレンス(1回/月)、係会・ミニ勉強会(1回/2か月)
- ・ キャンサーボード開催:定期17回、臨時9回 計26回(前年定期18回、臨時2回 計20回)
- ・ がんゲノム医療連携病院エキスパートパネルWeb参加
- ・ 専門・認定看護師会参加
- ・ 管理料取得:がん患者指導管理料 イ):6件(前年3件)、ロ):1件(前年3件)

<指導>

■ 部署勉強会

開催日	テーマ(内容)	対象	参加
4月24日	抗がん薬曝露対策	病棟看護師	8名

■ 緩和ケアリンクナース育成研修の企画・運営

開催日	テーマ(内容)	対象	参加
1月31日	看護レポート発表会	リンクナース	12名
6月27日	研修オリエンテーション コミュニケーション研修	リンクナース	11名
7月19・31日、 8月7・28日	第1回実践研修会	緩和ケアリンクナース	12名
10月16・30日、 11月15・27日	第2回実践研修会	リンクナース	11名

■ がん患者サロン(みきやんサロン)ゲスト

開催日	テーマ(内容)	参加
11月13日	治療との付き合い方～薬物療法の自宅での副作用対策～	1名

<講義>

開催日	テーマ(内容)	対象	参加
2月8日	県立病院看護職員合同研修「ラダーIトライ IV期研修「がん化学療法患者の看護」講義・演習	愛媛県立病院 新規採用看護 職員	41名 (欠席 2名)

<相談>

件数 88件(前年71件):自部署41+他部署28+電話19件
リツキシマブ初使用の3部署での投与管理、観察、副作用対策など事前準備、および、投与当日の看護師支援

- ・ 病棟担当薬剤師と看護師への相談対応
- ・ 内服抗がん薬胃管からの注入に際しての曝露対策など

(3) 院外活動

<講義>

開催日	テーマ(内容)	対象	参加
6月8・29日	厚生労働省造血幹細胞医療体制整備事業「看護基礎研修I・II」Web 愛媛県立中央病院「造血細胞移植患者の看護教育に必要な基礎知識とセルフケア支援」講義	医師 薬剤師 看護師 その他	I:81名 II:70名
9月4日	成人看護学方法論II 「がん化学療法を受ける患者の看護」	松山看護 専門学校 第2看護学 科2学年	23名
10月6日	第33回がん治療センター市民公開講座～がん薬物療法について～ 「がん薬物療法中の生活について」講演	県内在住 一般市民	32名

<リソースナース活動>

- ・ 愛媛県がん診療連携拠点病院:専門部会報告会Web参加(2月6日、7月26日)
- ・ 愛媛県がん診療連携協議会出席(2月3日Web、7月27日東温市)

<自己研鑽>

- ・ 日本看護協会主催 2023年度がん看護領域の認定看護師対象キャリアアップ研修会Web受講(1月29日)
- ・ 第38回日本がん看護学会学術集会 神戸会場+Web参加(2月24・25日)
- ・ 久留米大学認定看護師教育センター主催「第27回認定看護師のためのフォローアップ研修 久留米de MEETS! 認定看護師の「今」を語ろう 受講(3月16日)
- ・ 外来化学療法セミナー全国ハイブリットWeb参加(6月18日)
- ・ 愛媛外来化学療法リレーセミナーWeb『外来通院治療室における災害対策の取り組み』視聴(7月4日)
- ・ 『愛媛県における小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業について』東温市参加(7月27日)
- ・ 第7回日本腫瘍循環器学会学術集会姫路参加(8月3・4日)
- ・ 地域医療連携懇話会;血液疾患症例『患者自身が自分の生き方を選択し、その希望を叶えるための支援を考える』参加(8月21日)
- ・ 第62回日本癌治療学会学術集会福岡参加(10月24・25・26日)
- ・ 造血幹細胞移植看護STEP UP研修～看護基礎研修II補完セミナー～聴講(12月7日)

○乳がん看護認定看護師活動:外山修子

(1) 院内活動

<実績>

- ① 乳がん手術パス入院患者:197件
- ② 乳がん化学療法(CE療法初回)入院患者:28件
- ③ 乳がん化学療法(トラスツズマブ初回)入院患者:13件
- ④ 乳がん化学療法(トラスツズマブ+ペルスツズマブ+ドセタキセル初回)入院患者:20件

<活動内容>

- ① リンパ浮腫指導管理料:42件(入院)、21件(外来)
- ② がん患者指導管理料イ:計40件
- ③ がん患者指導管理料ロ:計7件
- ④ がん患者指導管理料ニ:計55件
- ⑤ 乳腺・内分泌外科
- ・ 病棟・外来多職種カンファレンス(毎週火曜日17:00~) 医師、看護師、薬剤師、リハビリ部門、地域連携室担当者が参加し、入院前、入院中、退院患者・家族について情報交換、検討した。
- ・ 入院中の患者指導として、術後リハビリ、ボディイメージ受容への支援、リンパ浮腫予防指導、自己検診、退院後指導を中心にパンフレットを使用し、行った。

■ 病棟勉強会

開催日	テーマ(内容)	対象
7月19日	乳がん術後ボディイメージの変容	病棟看護師
7月24日	デスカンファレンス	病棟看護師
7月26日	意思決定支援について	病棟看護師

■ 緩和ケアリンクナース研修の企画・運営(3回/年)

開催日	テーマ(内容)	対象	参加
2月2日	看護レポート発表会	緩和ケアリンクナース	12名
6月27日	オリエンテーション コミュニケーション	緩和ケアリンクナース	11名
7月26・31日、 8月7・28日	第1回実践研修会	緩和ケアリンクナース	11名
10月16・30日、 11月15・27日	第2回実践研修会	緩和ケアリンクナース	11名

■ がんサロンの企画・運営

開催日	テーマ(内容)	人数
1月10日	「一緒にお話しませんか」	なし
2月14日	「一緒にお話しませんか」	1名
3月13日	「一緒にお話しませんか」	なし
4月10日	「一緒にお話しませんか」	2名
5月8日	「気持ちとの付き合い方」 ゲスト:臨床心理士	1名
6月12日	「一緒にお話しませんか」	2名
7月10日	「困ったときの食事の工夫」 ゲスト:管理栄養士	3名
8月14日	「一緒にお話しませんか」	1名
9月11日	「治療中・療養中の災害に対する備え」	1名
10月9日	「一緒にお話しませんか」	4名
11月13日	「治療との付き合い方」 ～薬物療法の自宅での副作用対策～ ゲスト:薬剤師、認定看護師	1名
12月11日	「一緒にお話しませんか」	2名

- ・ 病院公式LINEでの広報開始

<がん治療センター運営委員会>

- ・ がん治療センター運営委員会参加(3月5日、7月2日)

<がんゲノムチーム>

- ・ チーム会参加(6月14日)

<AYA世代がん支援チーム>

(2) 院外活動

- ・ 愛媛県がん診療連携拠点病院がん相談専門部会 Web参加(2月3日)
- ・ サロン担当者交流会 Web参加(10月21日)

(3) 自己研鑽

- ・ 第38回日本がん看護学会学術集会: Web参加(2月24・25日)
- ・ 第32回日本乳癌学会学術総会参加(7月11・12・13日)
- ・ 日本乳がん学会中四国地方会(9月20・21日)
- ・ 日本乳がん看護研究会CNスキルアップセミナー参加(11月29日)
- ・ 第19回日本乳がん看護研究会参加(11月30日)

○救急看護認定看護師活動:山下さつき

(1) 院内活動

■ 研修・勉強会

開催日	テーマ(内容)	部署	対象
2月7日	急変時対応シミュレーション	9階東病棟	看護師
3月15・19日	急変時対応シミュレーション	HCU	看護師
7月25日	急変時対応シミュレーション	11階西病棟	看護師
8月26日	急変時対応シミュレーション	9階東病棟	看護師
8月27日	急変時対応シミュレーション	10階西病棟	看護師
9月12日	急変時対応シミュレーション	8階西病棟	看護師
9月17日	急変時対応シミュレーション	10階東病棟	看護師
9月26日	急変時対応シミュレーション	12階東病棟	看護師
10月16日	急変時対応シミュレーション	化学療法室	看護師
10月19日	一次救命処置	生理検査室	臨床検査技師
11月13日、 12月4日	急変時対応シミュレーション	5階産科病棟	看護師、助産師
12月9日	急変時対応シミュレーション	一般外来	看護師
12月18日	急変時対応シミュレーション	入院サポートセンター	看護師

一般外来、特殊外来、一般病棟の看護師に対して、急変時対応シミュレーションを実施しました。事例提出後、カルテより記録の確認、情報を収集し、グループワークで事例の振り返りを行い、それらがシミュレーションに活かせるよう指導を行いました。急変事例を振り返り、患者の状態変化への気づきを養うため、今後も急変時対応シミュレーションは継続する必要があると考えます。

医師以外の院内職員に対しては、2回/月、1時間×4回/日、一次救命処置の研修を実施しました。

■ 院内研修(依頼)

開催日	テーマ(内容)	対象	備考
5月17日	一次救命処置	新規採用職員II期研修	現任教育

(2) 院外活動

<講義・研修>

■ 医療技術大学(講師)

開催日	テーマ(内容)	対象
4月4・11・18日	災害看護	4年生
10月28日	災害看護	2年生

■ 松山看護専門学校(授業)

開催日	テーマ(内容)	対象
5月21日	一次救命処置	第2看護学科学生

8月28日	成人看護学方法論(急性期看護)	第2看護学科学生
-------	-----------------	----------

■ 人間環境大学(講師)

開催日	テーマ(内容)	対象
7月10日	一次救命処置	3年生

■ 4病院合同研修 公開研修

開催日	テーマ(内容)	依頼
12月12・13日	災害看護研修	県立病院課

<リソースナースとしての活動>

- ・ 愛媛県看護協会リソースナース・マネージメント委員会(1月31日)

○救急看護認定看護師活動:矢野奈美

(1) 院内活動

■ 院内研修企画・開催、院内研修・依頼

開催日	テーマ	内容	依頼
1月7日	RRS・BLS	RRSのマニュアル説明 令和6年度 RRS活動報告 BLS	RRS委員会
1月24日	RRS/BLS		
2月4日	RRS/BLS		
2月21日	RRS・BLS		

■ 定期的な活動

テーマ	内容	活動
救急カート点検	看護師不在部署のカート確認(鍼灸)	毎週月曜日
搬送車の物品確認	搬送車使用後の点検を行う、必要時物品補充	毎週月曜日

(2) 実践

- ・ 「救急カート」「搬送車」点検

看護師が配属されていない部署の救急カート点検を毎週月曜日に実施しました。適時調査で指摘された救急カート内の物品の見直し、マスク、酸素延長チューブ・バックバルブマスクを一体化させ、ディスプレイ化、事後の点検を継続して実施しました。

院内で RRS システムを構築し、2022 年 10 月～2025 年 1 月まで 83 件の要請がありました。夜間の要請が 75%(深夜 46%・深夜 29%)を占め、要請者は看護師でした。呼吸状態の悪化で RRS 起動している例が多く、ABCD の観察が習慣化できたと判断します。新規採用者研修・一般職員研修に RRS の周知・実際のコール方法の周知を行いました。また夜間補助者に対しても急変時の応援要請の研修を開始しました。「誰かにつなげる」そこから「治療につなげる」取り組みを継続します。

気道緊急について:緊急で病棟で気管切開できる仕組みを検討し、耳鼻科・救急科医師と手順・物品の調整を行いました。

○救急看護認定看護師活動:山崎誠

(1) 院内活動

■ 院内研修企画・開催、院内研修・依頼

開催日	テーマ	内容	依頼
6月10・11日	フィジカルアセスメントII	患者のニーズをとらえる力	県立病院課
7月29・30日	フィジカルアセスメントI	患者のニーズをとらえる力	県立病院課
12月12・13日	災害研修	災害時の初期対応	県立病院課

(2) 院外活動

■ セミナー講師

開催日	テーマ(内容)	対象
8月24日	ファーストエイドインストラクターコース	看護師
8月25日	ファーストエイド実技コース	看護師
12月14日	シミュレーションで楽しく学ぶ急変対応	看護師

12月14日	第7回iMEP CUPナースングオリエンテーリング	看護師
--------	---------------------------	-----

■ 愛媛県看護協会(講師)

開催日	テーマ(内容)	対象
7月13日	リソースナース交流会	認定看護師

■ 定期的な活動

開催日	テーマ(内容)
奇数月第4木曜	フライトナース会

(3) 実践

① フライトナースの育成

プレホスピタル経験のないスタッフに対して、消防機関に協力を依頼し、ワークステーション実習を経験することでプレホスピタルケアを学べる場を提供しました。また、フライトナース認定指導者としてフライトナース会での症例検討で指導を行い、フライトナースの育成を行いました。

② コメディカルを対象とした BLS 勉強会

他部門のスタッフに対して、BLS の勉強会を実施しました。

○集中ケア認定看護師活動:中村京子

(1) 院内活動

■ 院内研修(依頼)

開催日	内容	依頼
5月17日	患者観察の基本	院内現任教育
6月10・11日	フィジカルアセスメントII	県立病院課
6月17日	呼吸を整える援助	院内現任教育
7月18日	応用編	院内現任教育
7～9月	フィジカルアセスメントI	県立病院課

(2) 院外活動

■ 看護学校講義(授業)

開催日	内容
9月5日	成人看護学方法論(急性期看護)
10月23日	訪問看護師養成基礎講習会フィジカルアセスメント

(3) 実践・指導・相談

<実践>

患者・家族から得られた情報からアセスメントを行い、必要時多職種と連携し、療養後の生活を見据えた看護ケアが行えるように、医師・リハビリ部門と情報共有を行い、患者目標を共有しながら関わっていきました。今後は部署が変わっても看護師間で継続的に関わられるように看護計画への反映が 100%行えるようにしていきます。

<指導>

重症患者への意思決定支援について事例を用いて考える機会を設け、個々の価値観について深めることができました。

<相談>

病棟の急変事例を用いて、急変に至るまでの患者観察や対応について対応しました。

○緩和ケア認定看護師活動:加藤弘子・西谷恵

(1) 院内活動

① 院内研修(企画・運営)

■ 緩和ケアリンクナース育成研修

開催日	テーマ(内容)	参加
2月2日	事例発表	12名
6月27日	オリエンテーション・緩和ケアとは	11名
7月19・31日、 8月7・28日	実践研修	12名
10月16・30日、 11月15・27日	実践研修	11名

■ 新規採用者II期研修

開催日	テーマ(内容)	依頼
4月26日	基本的コミュニケーション	現任教育
7月18日	緩和ケアにおけるコミュニケーション	現任教育

■ 院内研修: 自部署研修

開催日	テーマ(内容)	対象
1月30日	初回化学療法患者への介入の振り返り	入院サポートセンター、地域連携室
4月23日	鎮静の看護	9階東病棟
8月23日	ACP	9階東病棟
9月18日	元看護師の意思決定支援	入院サポートセンター
10月16日	ACPと意思決定支援	入院サポートセンター
11月18日	ACPと意思決定支援	化学療法室
12月26日	認知症患者に対する意思決定支援	入院サポートセンター

② 緩和ケアチームラウンドへの参加(毎週火曜日 14:30~1回/週)

(2) 院外活動

■ 学会・研究会参加

開催日	名称
2月24・25日	第38回日本がん看護学会学術集会
6月14・15日	第29回日本緩和医療学会学術大会

■ リソースナースとしての活動

開催日	依頼	テーマ
2月15日	松山看護専門学校	がん患者と家族への関わり
7月26日	松山看護専門学校	がん患者と家族への関わり
6月14日	愛媛県立医療技術大学	看護学概論(協力者として)
8月25日	四国がんセンター	ELNEC-J

(3) 実践・指導・相談

<実践>

業務の中で症状緩和が必要な患者さんに対し、介入方法等を検討し実践しました。

<指導>

- ・ 自部署で鎮静の看護について勉強会を開催し、その後実践の中で指導しました。
- ・ 自部署でACPのテーマで事例を通して指導を行いました。
- ・ 自部署で事例検討を通して振り返りを行いました。

<相談>

緩和ケアラウンドや病棟内外の依頼に対して、随時対応しました。

○ 感染管理認定看護師活動: 岩本悟志、日野恵子、宇都宮麻美子、若林美代子

(1) 院内活動

■ 院内研修(企画・講師)

開催日	テーマ(内容)	対象
2~3月	標準予防策と感染経路別予防策における個人防護具の正しい着脱	全職員
5月27日	手指衛生遵守率向上に向けた取り組み(目標・計画立案について)	院内感染対策リンクスタッフ
6月6日	NICUでの感染対策	NICU 新規採用者、転入者
7月9日	PICC 管理について	NICU 医師、看護師

7月22日	輸液管理における感染対策	院内感染対策リンクスタッフ
7月3・10日	輸液のハブ消毒について蛍光塗料を用いたシミュレーション研修	NICU 看護師
9月30日	接触予防策について	院内感染対策リンクスタッフ
9月、10月	手指衛生のタイミングについてシミュレーション研修	NICU 看護師
11月25日	1%クロルヘキシジン含有アルコール消毒薬について、CVC ドレッシング材交換時の感染対策	院内感染対策リンクスタッフ
11月28日	PICC 挿入時の感染対策について	NICU 看護師
11月28日	手指衛生のタイミング、MRSAについて	NICU 看護師
11~12月	手指衛生のタイミングと手袋の話	全職員

■ 院内研修(依頼)

開催日	テーマ(内容)	対象
4月3日、6月3日	新規採用者等オリエンテーション「病院感染予防対策」	新規採用・転入職員
4月15日	新人看護師II期研修「標準予防策」	新規採用看護職員
5月7日	検査部学生オリエンテーション	検査部実習生(学生)
8月15日	夜間看護補助者会「感染対策について」	夜間看護補助者
10月2日	県立病院看護補助者研修「感染予防対策」	看護補助者
10月11日	研修医勉強会「インフルエンザワクチン接種について」	研修医

(2) 院外活動

■ 院外研修(講師)

開催日	依頼元・テーマ(内容)	対象
3月19日	愛媛県看護協会 看護職員人材派遣研修「標準予防策と感染経路別予防策」	松山ベテル病院職員
7月24日	愛媛県看護協会 看護職員人材派遣研修「感染管理」	医療・介護従事者等
8月1日	愛媛県看護協会 災害支援ナース養成研修	災害支援ナース受講者
12月17日	松山まどんな病院・院内感染対策研修会「病院に潜む感染リスク」	松山まどんな病院職員

■ 他施設訪問指導

訪問日	訪問施設
1月9日	医療法人結和会松山西病院
3月14日、10月1日	医療法人仁友会南松山病院
12月24日	社会医療法人真泉会松山まどんな病院

■ 地域活動

- ・ 愛媛県中予保健所感染対策マネージャー養成事業(企画会議への参加): 7月31日

(3) 実践・活動

- ① 医療関連感染サーベイランスの実施(関連部署のスタッフの協力のもと実施)
 - ・ 消化器外科、心臓血管外科における手術部位感染(SSI)サーベイランス
 - ・ 中心ライン関連血流感染サーベイランス
 - ・ 耐性菌サーベイランス
 - ・ 針刺し・切創・皮膚・粘膜曝露サーベイランス
 - ・ 手指消毒剤払出量サーベイランス
 - ・ JANISサーベイランス(SSI部門、全入院患者部門、NICU部門)

※JANIS: 厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業
- ② 職業感染防止策の実施
 - ・ 感染制御チーム(ICT)の活動の一環として、ワクチンプログラムの立案と実施

- ・ 全職種対象のインフルエンザワクチン接種
- ・ B型肝炎・流行性ウイルス疾患(麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘)の抗体価検査と抗体陰性者へのワクチン接種
- ・ 結核患者発生時の対応:接触者調査と接触者検診の実施等
- ・ 職員の針刺し・切創、体液曝露予防策の推進と発生時の対応等

③ 感染対策リンクスタッフ会の企画・運営(6回)

主に「手指衛生遵守状況の向上」「血管内留置カテーテル関連血流感染予防」について取り組みました。各部署のリンクスタッフが自部署の課題や問題点を改善できるよう、サポートしました。

④ ICTメンバーと共に感染対策ラウンドの実施(毎週)

病棟は月に1回、その他の部署は少なくとも2か月に1回、環境ラウンドを実施しました。結果は、改善活動に活かせるよう報告書として各部署に配布しました。

⑤ 感染対策の推進

- ・ 院内感染対策に関する研修会の企画・運営
- ・ 感染対策マニュアルの作成、改訂と周知
- ・ 標準予防策遵守向上に向けての取り組み
- ・ 現場での感染対策に関する指導やコンサルテーション

⑥ 病院機能評価受審に向けた病棟ラウンド

- ・ 各部署の次席や感染対策リンクスタッフと病棟内をラウンドし、疑問点や課題の解決に取り組みました。

⑦ 地域連携

- ・ 感染対策向上加算に係る合同カンファレンスの実施:1月9日、3月4日、7月16日、10月1日、12月24日
- ・ 松山・東温感染対策協議会(感染対策向上加算1算定5施設による会):総会(3月15日)
- ・ 感染対策向上加算に係る相互ラウンド
評価受審:①愛媛医療センター(2月1日)、②松山赤十字病院(12月16日)

⑧ 抗菌薬適正使用支援チーム(AST)活動

- ・ 血液培養陽性患者のカンファレンス(週1回)
- ・ 血培陽性者・ASTコンサルテーション・抗菌薬長期使用患者の情報収集

○手術看護認定看護師活動:渡部早人、今井幹也

(1) 院内活動

■ 院内研修(依頼)

開催日	テーマ(内容)	対象
4月7日	1年次研修医オリエンテーション ガウンテクニック・手術時手洗い方法について	1年次研修医

■ 院内勉強会(企画・支援)

開催日	テーマ(内容)	参加
4月8日	感染管理、手術室の環境、手術時手洗い、ガウンテクニック	手術室新人・転入看護師
4月9日	OP室オリエンテーション、手術室の構造と業務、各種マニュアル・手順、教育体制	手術室新人・転入看護師
4月10日	OP室内オリエンテーション 洗浄、組み立て、滅菌、器械の管理、手術室清掃	手術室新人・転入看護師
4月17日	器械展開・カウント方法 補助台カバーの装着方法、使用済み器械の回収方法	手術室新人・転入看護師
5月1日	針刺し防止対策について	手術室新人看護師

(2) 院外活動

■ 院外研修(依頼)

開催日	名称(テーマ)	対象
7月24日	JICA 病院視察支援	海外研修生 28名
8月28日	松山看護専門学校 成人看護学「手術を受ける患者の術中看護」	松山看護専門学校
3月2日	患者を守る安全な器械出し	臨床工学技士学会 研修生 32名

■ 学会・研修会参加

開催日	名称
6月8日	第17回周術期管理チームセミナー
7月20日	第54回日本手術看護学会四国地区学会
10月19・20日	第38回日本手術看護学会年次大会
11月30日	日本手術看護学会四国地区(香川地区)研修会
12月20・21日	第46回日本手術医学会総会

■ リソースナース活動参加

開催日	名称
4月24日	リソースナース・マネジメント委員会
10月23日	リソースナース全体交流会 リソースナース・マネジメント委員会

<実践>

- ・ 定期手術患者および緊急手術患者の器械出し看護業務・外回り看護業務を実践しました。
- ・ 中央材料部において手術器械の洗浄・滅菌・組み立てを実践しました。
- ・ 手術器材、中材部門の固定資産整備計画を実施しました。

<指導>

- ・ 手術看護業務(器械出し看護業務・外回り看護業務)に対して、スタッフに日々指導を継続しました。
- ・ 外回り看護業務を経験し始めたスタッフに対して勉強会を実施し、指導することで質の担保ができました。
- ・ 中央材料部において手術器械の洗浄・滅菌・組み立ての指導を行い、インシデント低減に繋がりました。
- ・ 器械出し看護師のタスクシフト対応に向けて臨床工学技士へ器械出し技術の指導を行いました。

<相談>

周術期に関連する内容について随時対応しました。また、手術室チーム活動に対して相談を受け、対応しました。

○小児救急看護認定看護師活動:藤原優子

(1) 院内活動

■ 院内研修

開催日	名称	対象
4~7月	小児医療センター新採用者勉強会(計2回)	新採用者、転入者
4~12月	小児 BLS スキルチェック支援	小児医療センタースタッフ、小児科外来の全スタッフ
5月(2回)	小児急変時対応勉強会	各部署看護師
6月10・11日	フィジカルアセスメントII研修	ラダーIIIトライ看護師
6~12月	気管カニューレ自己抜去時の対応訓練支援	小児医療センターの全スタッフ
7月29・30日、8月30日、9月2日	フィジカルアセスメントI研修	2日目看護師

■ 院内活動 委員会

開催日	名称
2016年4月～	虐待防止委員会(第4月曜日/月) 虐待防止委員会コアメンバー活動 松山市連絡調整会(第3水曜日/3か月)

(2) 院外活動

■ 院外活動

開催日	名称	対象
8月	愛媛県教育委員会「医療的ケア看護職員等スキルアップ研修」講師	特別支援学校看護教員
10・11月	松山看護専門学校 講師 「小児周手術期の看護」「小児緩和ケア」「小児虐待について」	看護学生

■ 学会・セミナー参加(Web開催)

開催日	名称
7月6・7日	第30回小児看護学会学術集会
10月26・27日	第31回小児集中ワークショップ
11月30日、12月1日	第30回日本子ども虐待防止学会学術会

<実践・指導・相談>

- ・ 小児BLS技術習得、急変時対応についての学習支援や振り返りを行い、自部署と関連部署を横断して課題を見出し、それぞれの課題達成支援を行い、教育と環境整備に取り組みました。また観察室支援を実施しながら小児救急に関するスタッフ教育を計画的に行いました。
- ・ 経年別のフィジカルアセスメント研修を通して、院内のスタッフ育成・指導に貢献しました。
- ・ 乳幼児の事故防止指導、虐待対応を行うことや普段からの育児支援を通して、虐待防止委員として虐待予防活動を実践しました。
- ・ 院内の小児救急関連物品の整備管理を実施し、相談対応を行いました。

○皮膚・排泄ケア認定看護師活動:久保美千代、和田理枝

(1) 院内活動

<創傷ケア委員会、創傷ケア検討部会企画運営>

- ・ 検討部会第1木曜日13:30～16:00
- ・ 創傷ケア委員会奇数月第1木曜日16:30～17:00

■ 創傷

	2023	2024
褥瘡推定発生率	0.80%	1.00%
褥瘡有病率	1.90%	2.80%
医療関連機器圧迫褥瘡推定発生率(MDRPU)	0.70%	0.60%

※2021年日本褥瘡学会
(褥瘡推定発生率1.15%、褥瘡有病率2.37%、MDRPU0.3%)

■ 褥瘡およびハイリスクケア対策の実践

	2023	2024
褥瘡ハイリスク患者ケア	519	1,095
褥瘡ハイリスクラウンド	429	676
創傷ラウンド及び評価	1,228	1,335

■ 褥瘡チームによるカンファレンスおよび回診(1回/週)

	2023	2024
褥瘡およびハイリスクラウンド	124	124
褥瘡およびハイリスクカンファレンス	1,429	1,659
地域医療連携(情報提供書作成)	38	43

(2) 実践・指導・相談

- ・ 褥瘡ハイリスクラウンドを行い、予防介入を実践しました。
- ・ 現場でケアの中核となるよう、リンクスタッフ、専任看護

師、検討部会メンバーの育成を行いました。

- ・ クリティカル療育入室中の補助循環挿入患者の尾骨部褥瘡発生を分析し、予防ケア状況から発生のタイミングを抽出し、尾骨部褥瘡発生と治癒率を低下させました。
- ・ 周術期、終末期患者の高機能マットの早期使用とギヤジアップ時のずれの強化を行うことで、尾骨部の褥瘡治癒が早くなりました。
- ・ スライディングシートやマルチグロブの使用を標準化し、褥瘡ケア環境を整えました。
- ・ 褥瘡対策診療計画書の作成を確実にできるようRPAを活用したシステム作成と運用周知を行いました。
- ・ 認知症ケア認定看護師と共同し、おむつ外しによる身体拘束を減少させました

<スーマリハビリテーションチーム会>

- ・ 開催:5・8・11・2月 第3月曜日(13:30～16:00)

<実践/相談>

- ・ 術前・術後からスーマ造設患者に介入し、精神的なサポートや術後創感染、早期合併症の対応、装具選択、スーマケアの介入を行いました。
- ・ 退院後はスーマ外来で皮膚障害や晩期合併症の対応を行い、日常生活でのサポートを実践しました。
- ・ 「スーマ合併症加算」の算定ができるよう、体制づくりを行いました。

<指導>

- ・ スーマケアに関わるスタッフを育成し、院内の標準化と質の向上を図るため、ナーシングスキルを活用した評価や勉強会を開催しました。装具選択フローの変更や合併症の対応など、フォローが必要であり、アセスメント能力を高レベルアップできるように、継続して指導していきます。
- ・ 管理困難な事例に対し、情報提供書(クライオ画像付)を活用したケアの継続ができるように地域の関連施設と連携を図りました。

スーマサイトマーキングのOrchisを作成し、緊急時に観察室でも実施できるよう取り組みました。

■ スーマ

	2022	2023	2024
スーマ外来処置件数	686	618	594
スーマ在宅療養指導料件数	592	736	529
人工肛門・膀胱造設術前処置加算	90	98	101
人工肛門・膀胱造設術前処置(予定)	100%	100%	100%
人工肛門・膀胱造設術前処置(緊急)	100%	91%	91%

■ 在院日数・退院カンファレンス実施率

	泌尿器科	消化器外科
在院日数(予定/緊急)	26.8日	24.8日/33.8日
退院前カンファレンス実施率	13件(85%)	67件(94%)

<排尿ケアチーム会>

- ・ 開催:5・8・11・2月 第1金曜日(17:30～18:00)

<排泄ケア検討部会>

- ・ 開催:5・7・9・11・12月 第3金曜日(13:30～16:00)

<実践/指導>

- ・ RARP術後患者のラウンドを行い、骨盤底筋訓練指導や外来での尿失禁に対し、排尿用具の紹介やIAD予防などについてケアを実践しました。
- ・ 頸椎損傷や腰椎、脊椎患者の下部尿路機能障害に対しケア介入、関連病棟においてスピーディカテを導入し、CIC指導を行いました。
- ・ 脳卒中や脳外術後患者に対し、尿閉フローに準じて排尿自立に向けた介入、評価を行いました。
- ・ 次年度は術後の神経因性膀胱などによる排尿困難を対

象に、排尿自立ケアやCIC指導など実践できるように取り組んでいきます。

■ 排尿自立支援加算および排尿自立指導料(外来)

	2022	2023	2024
排尿自立支援加算数	164	113	108
排尿自立指導料	241	185	167

■ 院内研修(企画)

開催日	テーマ(内容)	対象	参加
5月20日	装具選択(5つの特性)	SR チーム会	5名
5月23日	リンクスタッフ勉強会: 褥瘡対策診療報酬「圧とずれの排除し皮膚観察について考えよう」	創傷ケアリンクスタッフ	講義25名
5月24日、6月中	「排尿ケア スピーディカテナビ」について	排尿検討部 連携ナース 関連病棟スタッフ	5名
6月6日	「褥瘡評価」「スキんケア」「失禁ケア」「骨突出」「圧迫とずれ力の排除」	褥瘡専任看護師	実習54名
6月25日～7月10日	「褥瘡の診断と評価」「褥瘡の診療報酬」	専任医師 専任看護師	講義 481名
7月18日	リンクスタッフ勉強会「洗って塗って皮膚を守る」「皮膚の異常を見つけよう」「褥瘡評価」「褥瘡対策診療計画書について」	創傷ケアリンクスタッフ	講義・実習 25名
8月1日	「褥瘡評価」「スキんケア」「失禁ケア」「骨突出」「圧迫とずれ力の排除」	褥瘡専任看護師	実習36名
8月19日	ストーマサイトマーケティングについて	SR チーム会	5名
10月3日	「褥瘡評価」「スキんケア」「失禁ケア」「骨突出」「圧迫とずれ力の排除」	褥瘡専任看護師	実習23名
10月17日	リンクスタッフ勉強会「創傷カンファレンスをしよう」「褥瘡対策診療計画書を見直そう」「褥瘡ハイリスクアセスメント・予防治療計画」	創傷ケアリンクスタッフ	講義・実習 25名
11月16日	自動体位変換オスカー	6階西病棟スタッフ	実習10名
11月18日	ストーマ合併 処置加算について	SR チーム会	5名
12月5日	「スキんケアの予防」「スキんケア遅漏」「皮膚にやさしいテープの剥がし方」	中核となる看護師	講義と実習 36名
12月6日	「正常な排尿のメカニズム」「看護師による排尿機能評価」「認知症によってひきおこされる排泄障害と生活上の問題点」「認知症患者はなぜおむつを外すのか」	看護師	講義演習 21名

12月12日	「スキんケアの予防」「スキんケア遅漏」「皮膚にやさしいテープの剥がし方」「IAD」	創傷ケアリンクスタッフ	講義・実習 25名
--------	-------------------------------------------	-------------	-----------

■ 院内研修(依頼)

開催日	テーマ(内容)	対象	参加
4月4日	褥瘡チーム医療	研修医	22名
6月5日	新人II期研修 創傷予防対策(褥瘡・スキんケア MDRPU・ポジショニング)スキんケア、医療テープ	新人看護師	講義演習 66名
7月24日	「圧迫とずれ力の排除」	9階西病棟スタッフ	実習 10名
7月26日	「圧迫とずれ力の排除」	11階西病棟スタッフ	実習 18名
9月24日	「圧迫とずれ力の排除」	6階西病棟スタッフ	実習 9名
9月26日	ポジショニング	11階西病棟スタッフ	実習 14名
12月13日	「スキんケア」「ストーマケア」「褥瘡」	研修医	講義 14名

■ 院外活動(依頼)

開催日	テーマ(内容)	対象	参加
3月30・31日	排尿機能回復に向けた治療とケア講座	全国医師、看護師	講義・実習 64名
6月29日	看護基礎研修II 造血幹細胞移植 拠点病院セミナー 「移植後早期の支持的ケア スキンケア」	造血細胞移植看護に関わる看護師	講義
9月21日	四国SR講習会 基礎コース 実習	ストーマケアに関わる看護師	講義・実習 23名
11月24日	四国SR講習会 フォロコース	ストーマケアに関わる看護師	講義・実習 27名

<企画・運営>

- ・ 講習会企画: 四国ストーマリハビリテーション講習会副運営 委員長 財務委員
- ・ 愛媛ストーマ排泄リハビリテーション研究会: コアメンバー

■ 学会(参加・座長・発表・共同演者等)

開催日	名称	テーマ(内容)
5月25・26日	第33回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会	「煌めくWOCNの力」参加
6月29日	第37回愛媛ストーマ・排泄リハビリテーション研究会	「認知機能低下を伴う高齢者のストーマ手技獲得に向けた取り組み」共同演者
6月29日	第37回愛媛ストーマ・排泄リハビリテーション研究会	座長
9月6・7日	第26回日本褥瘡学会学術集会	「次代に向かう褥瘡ケア」参加
11月21・23・24日	第44回医療情報学連合大会	デジタルヘルスの新未来
11月24日	第44回医療情報学連合大会	「業務の効率化と自動化を目指した DX(Digital Transformation)の活用ー褥瘡対策診療計画書の入力不備への取り組み」発表
11月29・30日	第5回日本フットケア・足病医学会年次学術集会(Web)	「OneStepFurther もう1歩その先に」参加

○摂食・嚥下障害看護認定看護師活動:山下かおり

(1) 院内活動

■ 院内研修(依頼)

開催日	テーマ(内容)	対象	依頼
5月17日	新人II期研修「患者観察」	新人看護師	看護部
6月17日	新人II期研修「フィジカル」	新人看護師	看護部
7月18日	新人II期研修「フィジカルアセスメント」	新人看護師	看護部

■ 自部署研修

開催日	テーマ(内容)	対象
6月4日	摂食嚥下障害看護 全般	9階西病棟
6月28日	CRTと栄養について	11階東病棟
9月26日	多職種嚥下チーム勉強会「口腔ケア」	院内職員
10月16日	多職種嚥下チーム勉強会「嚥下食、とろみ」	院内職員
3月28日	口腔ケア	11階東病棟

■ ラウンド

開催日	内容
4月～	NSTラウンド 毎週火曜日:隔週に参加

(2) 院外活動

■ 院外研修

開催日	内容
7月9日	多施設合同新人看護職員研修
8月1日	復職支援研修 安全な食事介助
8月22日	看護人材派遣研修 西条市民病院
9月25日	看護人材派遣研修 まどんな病院
11月7日	看護人材派遣研修 天山病院
12月12日	復職支援技術研修 安全な食事介助

■ 学会・セミナー参加

開催日	名称
11月10日	食支援実技セミナー
11月16日	愛媛県病院学会
2月21・22日	嚥下医学会 2025

(3) 実践・指導・相談

- ① 脳神経外科・脳神経内科、頭頸部がんなどの嚥下障害患者の評価・スクリーニング、栄養評価などを行い、訓練やリハビリを多職種でカンファレンスしながら実践に取り組みました。
- ② 食事介助や食事姿勢のラウンドを実施、他者評価を行い、担当スタッフにフィードバックしました。
 - ・ 摂食嚥下評価人数:34名
 - ・ スクリーニング施行患者:11名
 - ・ 認定単独での食事ラウンド件数:132名
 - ・ 摂食機能療法算定件数:218件
 - ・ 摂食嚥下支援加算2件数:24件
- ③ 2024年度の入院後誤嚥性肺炎患者の分析・現状報告を行いました。また嚥下機能簡易チェックリスト、スクリーニングの実施率などの状況も看護長会で報告しました。新たに摂食嚥下機能簡易チェックリスト6病棟導入し、13病棟に拡大しました。導入病棟の使用状況を毎月病棟へフィードバックしました。スクリーニング実施率上昇のため、担当看護師と一緒にスクリーニングを行うようにしました。
- ④ 院内摂食嚥下チーム主催で院内職員対象に勉強会を開催しました。嚥下ニュースの発行やスクリーニングのテンプレート化も行いました。院内窒息事故に対して、チームでの対策を検討し、義歯や臼歯のない患者の食事形態は医師と相談し、難易度の低いやわらか食へ変更しても

らうように看護職員全員に配信し、注意喚起を行いました。毎月摂食嚥下チームで事例検討や支援加算対象患者のカンファレンスを実施しました。

○認知症看護認定看護師活動:玉利未来

(1) 院内活動

■ 院内研修(依頼)

開催日	テーマ(内容)	対象
1月20日	認知症ケアと加算について	6階東病棟看護師15名
1月19日	認知症ケアと加算について	6階西病棟看護師8名
6月12日	新規採用看護職員II期研修「せん妄予防」	現任教育委員会主催 新採用者63名
6月18日	「認知症の人の看護について～パーソン・センタード・ケアから学ぶ認知症の「人」の理解	10階東病棟看護師20名
7月2日～9月30日	認知症患者に対する物理的な環境調整(e-learning)	院内全看護職員対象
7月30日	せん妄と対策について	10階西病棟看護師16名
11月12日・26日	身体拘束と認知症ケアに関わる診療報酬改定の概要と課題について	次席会
12月18日	身体拘束についての勉強会	10階西病棟看護師20名

<認知症ケア加算1:認知症ケアチーム活動>

① 認知症ケアチームカンファレンス・巡回

■ カンファレンス

開催日	内容
毎週水曜日(15:00～16:30)	認知症ケアチームカンファレンス

- ・ チーム介入対象患者数:364名
- ・ カンファレンス数:147件

■ 巡回

開催日	巡回対象病棟
毎週火曜日	6階東西
毎週木曜日	8階西、9階東西、10階西、12階東
毎週金曜日	10階東、11階東西、12階西

- ・ 1回/週 各病棟を巡回
- ・ 巡回患者総数:925件

② 認知症ケア加算1 算定総数:3,755回

③ 認知症ケア・せん妄対策マニュアルの見直し

④ 認知症ケアチーム多職種研修会の開催

開催日	テーマ(内容)	対象
7月11日	認知症とBPSD	院内多職種25名
7月25日	抗認知症薬とBPSD治療薬について	院内多職種32名
9月12日	認知症の人とのコミュニケーション	院内多職種27名
10月28日	認知症の人のもてる力を支援する方法	院内多職種32名
11月12日	認知症患者に対する栄養・食事支援のポイント	院内多職種18名
12月17日	認知症と作業療法	院内多職種11名

<せん妄ハイリスク患者ケア加算>

- ・ 算定総数:9,569件
- ・ 4月～12月院内せん妄発症率:4.1%(前年度5.5%)

(2) 院外活動

<企画・運営>

- ・ 愛媛県看護協会 認知症看護研修担当者

■ 院外研修:講師

開催日	名称	対象
7月3日	認知症対応現場向上研修	「認知症ケア加算2および3」対応研修を修了した者
9月18・19・20日	病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修	県内病院に勤務する看護職員

■ 学会・セミナー参加

開催日	学会・セミナー名
6月28・29・30日	第29回日本老年看護学会学術集会
10月12・13・14日	日本エンドオブライフケア学会第7回学術集会

(3) 実践・指導・相談

<実践>

- ・ 病棟看護師が関わりについて悩んでいる症例に対して、認知症の人が感じている生活上の困りごとを代弁し、ご家族と共に安心して入院生活が送れるように、患者訪問や家族面談を行いました。
- ・ 必要に応じて認知症スクリーニングを実施し、対象者の認知機能評価を実施しました。

<指導>

- ・ 認知症の患者やせん妄を発症した患者に対し、認知機能障害の症状アセスメントや多職種連携、せん妄発症要因の検索と対応の助言を行い、ケアの方向性を導いて実践に繋ぐサポートを行いました。
- ・ 部署で行う認知症やせん妄患者の事例検討会に参加し、アセスメントや看護実践の評価・助言を行いました。

<相談>

- ・ 認知症の発症から終末までの各時期に応じた相談内容に対応し、多職種でカンファレンスを行いながら対応策を導く活動を行いました。
- ・ せん妄発症前や発症後の相談にはリスク因子を同定したうえで、対応方法や薬剤選択について適宜臨時カンファレンスを行い、多職種で検討を行いました。

○糖尿病看護認定看護師活動:兵頭佳代子

(1) 院内活動

■ 院内研修(依頼)

開催日	テーマ(内容)	対象
5月29日	県立病院看護職員合同研修(新人2期)「血糖測定とインスリン注射」	院内現任教員委員会:新規採用者

■ 院内勉強会(企画・支援)

開催日	テーマ(内容)	対象
4月25日	糖尿病患者さんへの支援のコツ	6階西病棟看護師
8月30日	マンジャロ・バクスマー勉強会	6階西病棟看護師
9月30日	糖尿病の内服と支援について	6階西病棟看護師
11月10・14日	CSII療法と看護	6階西病棟看護師

(2) 院外活動

■ 院外研修:講師

開催日	名称	対象
3月14日	糖尿病の基礎知識～1型糖尿病と共に生きる子どもへの支援～	松山保育・幼稚園科

11月18日～12月16日	糖尿病・内分泌疾患患者の看護	松山看護専門学校
---------------	----------------	----------

■ 学会・セミナー(参加・座長・発表・共同演者等)

開催日	名称	備考
5月17・18・19日	第67回日本糖尿病学会年次学術集会	参加

■ 地域活動

開催日	名称	対象
6月23日	愛媛糖尿病療養指導士試験・面接(面接官として参加)	ECDE受験者
10月14日	歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー 主催:愛媛糖尿病協会 (愛媛県糖尿病協会理事・後方支援病院担当として参加)	県内糖尿病患者と家族
11月10日	世界糖尿病デー街頭活動 in 大街道(療養相談:看護師として参加)	一般市民
12月1日	1型糖尿病+(たす)の会 (妊娠・結婚・出産ブースのファシリテーターとして参加)	県内成人発症1型糖尿病患者

(3) 実践・指導・相談

<実践>

- ・ 外来・病棟で糖尿病患者、家族に対して療養支援を行いました。(外来での療養支援件数:34件、在宅療養指導料算定延べ件数:10件)
- ・ 糖尿病教育入院多職種カンファレンス(毎週金曜日17:30～18:30)
- ・ 透析室看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師と透析室でフットチェックラウンドを実施し、足病変のハイリスク状態の患者に対して、ケアの方法を指導しました。(毎月第3火曜日or金曜日10:30～)
- ・ 入院中の糖尿病足病変のハイリスク患者に対してフットケアを行い、退院後のセルフフットケア方法を指導し、必要時外来看護師と情報共有しました。(介入患者数:19名)
- ・ 病棟入院患者に対し、兼任日に病棟看護師と共にCSII療法、インスリン自己注射・自己血糖測定指導、低血糖、シックデイ等の指導を行いました。(介入延べ患者数:14名)

<指導>

- ・ 外来、病棟で糖尿病患者・家族への療養支援、初期カンファレンスを通して、スタッフへ指導を行いました。
- ・ 糖尿病関連のインシデント発生時にはマニュアル改定やポスターの掲示をすることで再発防止に努めました。

<相談>

- ・ コンサルテーション件数:7件
依頼内容:小児1型糖尿病新規発症患児へのインスリン手技指導、療養支援・観察室での血糖測定器・持続グルコース測定器使用患者対応について、慢性腎臓病透析予防指導管理料算定におけるチームの立ち上げについて、リブレの院内運用について、糖尿病患者への心理的アプローチなど

○慢性心不全看護認定看護師活動:重川みか

(1) 院内活動

■ 部署勉強会(依頼、企画)

開催日	テーマ(内容)	対象
7月4日	「心電図・不整脈について」	9階西病棟スタッフ

(2) 院外活動

■ 看護学校講義

開催日	テーマ(内容)	対象
1月23日		聖カタリナ学園看護科専攻科1年生39名

■ 院外研修 講師

開催日	名称・テーマ	対象	備考
4月12日	多職種で学ぶ心不全WEB勉強会－e-MUT－「つなぐ つなげる医療連携 心不全の基礎知識」発表	愛媛県内の医療従事者	Web
6月11日	愛媛県看護協会 看護職員人材派遣研修「心不全看護」	ノエルクリニック 心臓血管外科 歯科職員	

■ 学会・セミナー参加

開催日	学会名
10月4・5・6日	第28回日本心不全学会学術集会
11月15・16日	第21回日本循環器看護学会学術集会

(3) 実践・指導・相談

<実践>

- 心不全入院患者の生活調整などの療養指導や症状緩和、意思決定支援等、病棟スタッフや多職種と連携しながら取り組みました。(計22事例)
- 心不全入院患者の介入の方向性や看護支援のポイント、目標を多職種で共有・実践するために、多職種カンファレンスの開催を企画・実践しました。(不定期開催 計12事例)
- 心不全終末期にある患者に対し、患者・家族の意向に沿い、在宅静注強心薬持続投与を導入する療養支援を行い、退院時訪問指導を行いました。(1例)
- 外来通院患者に対し継続した療養指導を行い、心不全増悪による再入院予防に努めました。(療養指導件数: 11件 うち再入院症例2例(18%))
- 心臓リハビリカンファレンス: 毎週水曜日17:00～17:15

<指導>

- 心不全の病態生理や療養指導のポイント、意思決定支援等において、病棟スタッフと共にカンファレンスを行いつつ、スタッフが実践できるように指導を行いました。(計22事例)

<相談>

- 院内各部署から心不全患者に対する療養支援や意思決定支援に関する相談があり、対応しました。(コンサルテーション件数: 10件)
- 観察室より心不全患者に対するASV療法について動画資料作成依頼あり、作成しました。

○クリティカルケア認定看護師活動: 越智康弘

(1) 院内活動

■ 院内研修(依頼)

開催日	内容	対象	依頼
5月17日	フィジカルアセスメント①	新人看護師	院内現任教育
6月10・11日	フィジカルアセスメントII(1回目)	ラダーIII・IVトライ看護師	県立病院課
6月17日	フィジカルアセスメント②	新人看護師	院内現任教育
7月18日	フィジカルアセスメント③	新人看護師	院内現任教育
7月29・30日	フィジカルアセスメントI(1回目)	ラダーIIトライ看護師	県立病院課
8月30日、9月2日	フィジカルアセスメントI(2回目)	ラダーIIIトライ看護師	県立病院課

■ 院内勉強会(企画・運営)

開催日	内容	参加
6月24日	全身麻酔術後の基礎知識	ICU・救命 ICU・救命 HCU 新人看護師

7月8日	Aライン抜去について	ICU 新人看護師
8月	喘息発作の対応について(事例検討)	ICU 看護師
10月	脳室ドレーンの安全管理(事例検討)	ICU 看護師

(2) 院外活動

■ 院外研修 講師

開催日	内容	参加	依頼
6月4日	看護出前授業	県立伊予高校	愛媛看護協会
11月21日	急変を防ぐフィジカルアセスメント	松山リハビリテーション病院	愛媛看護協会

■ 学会・セミナー参加

開催日	内容
6月15日	第8回中国・四国支部学術集会
3月14・15・16日	第51回日本集中治療医学会学術集会(オンデマンド参加)

(3) 実践・指導・相談

<実践>

- 多職種カンファレンス

昨年度に引き続き、ICUに長期入室している患者を対象に多職種カンファレンスを定期的に行えるように介入しました。延べ38回実施し、方針の共有や看護に繋がりました。また、計画への反映率が向上するように関わり、68%が計画反映され、実践へと繋がりました。

<指導>

ICU・救命 ICU・救命 HCUの新人看護師を対象に全身麻酔術後の看護に関する勉強会を開催しました。また、ICUで発生したインシデントや急変事例をもとに、知識の振り返りに加えて事例検討を行い、スタッフの質の向上に努めました。

山下救急看護認定看護師からの依頼により、院内スタッフを対象としたBLS勉強会を行いました。

<相談>

病棟での急変対応事例について相談があり、病棟でのカンファレンス参加もしくは紙面でのアドバイスをを行いました。

5. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- 木村奈々. 高度急性期医療を担う病院の手術室ベテラン看護師が見出す看護のやりがい. 第43回愛媛看護研究学会. 愛媛 (2024.1.24)
- 河野千紘. 認知機能低下を伴う超高齢者のストーマ手技獲得に向けた取り組み～術後せん妄を乗り越えて～. 第37回愛媛ストーマ・排泄リハビリテーション研究会. 愛媛 (2024.6.29)
- 村上智紀, 薬師神早矢佳. ICUにおけるカテ後の観察と管理. 第30回日本心血管インターベーション治療学会(CVIT)中国四国地方会. 岡山 (2024.9.7-8)
- 牛山愛友, 岡田智恵, 外山修子, 山崎亜衣. AYA世代乳がん患者と関わる病棟看護師が抱く思い. 第21回日本乳癌学会中国四国地方会. 愛媛 (2024.9.20-21)
- 豊崎幸子. 看護業務のタスクシフトに向けた補助者研修～看護基礎教育を用いた体験型演習の活用～. 第55回日本看護学会学術集会. 熊本 (2024.9.27-29)
- 阿部智賀, 森岡和美, 保田昌美, 今井友里恵, 竹田直弘, 赤穂静香, 濱田理恵. バス監査による改定と記録の課題. 第24回日本クリニカルバス学会学術集会. 愛媛 (2024.11.10-11)
- 石田嘉代, 秀野桜, 松川祐子, 竹田直弘, 赤穂静香, 濱田理恵. バス活動の引き継ぎの現状と課題. 第24回日本クリニカルバス学会学術集会. 愛媛 (2024.11.10-11)
- 二宮まどか, 橋本望, 中岡由貴恵, 松永佳余子, 大館裕子. 手術室看護師の観察室業務における不安低減. 第25回フォーラム「医療の改善」全国大会 in 岐阜. 岐阜 (2024.11.15-16)
- 檜垣杏奈, 近藤諒太. 小児手術における経験に基づいたアセスメント

の視点—経験豊富な看護師の語りを通して— 第 60 回愛媛県立病院
学会. 愛媛 (2024.11.16)

10. 松本篤之、川村滯、矢野奈美. 主体的な学習行動につながる先輩の
関りについて. 第 60 回愛媛県立病院学会. 愛媛 (2024.11.16)
11. 寺尾由絵、古本奈緒美、西田舞衣、松本和美、武智加奈. A 病棟にお
ける身体抑制を回避するための取り組みの実態. 第 60 回愛媛県立病
院学会. 愛媛 (2024.11.16)